



第29回全国身体障害者野球大会

NPO日本身体障害者野球連盟



2021年5月8日
9:00~競技開始

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、通常2日間16チームによる開催のところ、8チームによる1日開催とし、開会式、閉会式も中止としました。

各チームは入場時間をずらして来場、2週間の健康チェックシート提出後、検温、消毒後にリストバンドを配布、その他感染防止対策をして、完全無観客にて開催しました。

サブ球場とメイン球場の行き来も制限しました。声出し、円陣禁止など細かな決まりに沿って、触れあいは少ないけれど、待ちに待った野球がはじまります。



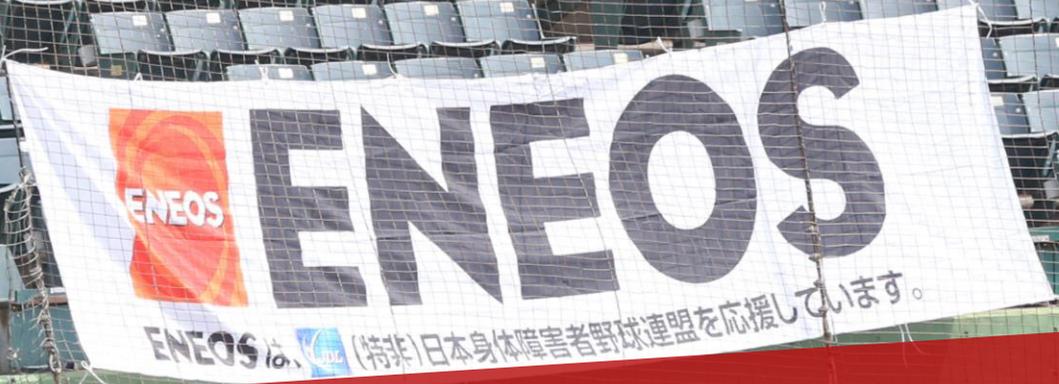
特別参加で関西女子野球チーム兵庫ブルーサンダーズさんとの親善試合を行いました。身体障害者野球チームからは京都フルスイングスが出場し、対戦しました。

女子チームは慣れない軟式ですが、さすがエラーもなく、バットにも当たります。

7-4で、兵庫ブルーサンダーズの勝利でしたが、身障者チームも善戦しました。

何度も練習した守備のシフト網、次の塁を狙う走塁、外野からのカット連携プレイやカバーリングなど、全員で、繰り返した練習の成果が出て、全員笑顔の爽やかな交流戦でした。





いよいよ試合開始



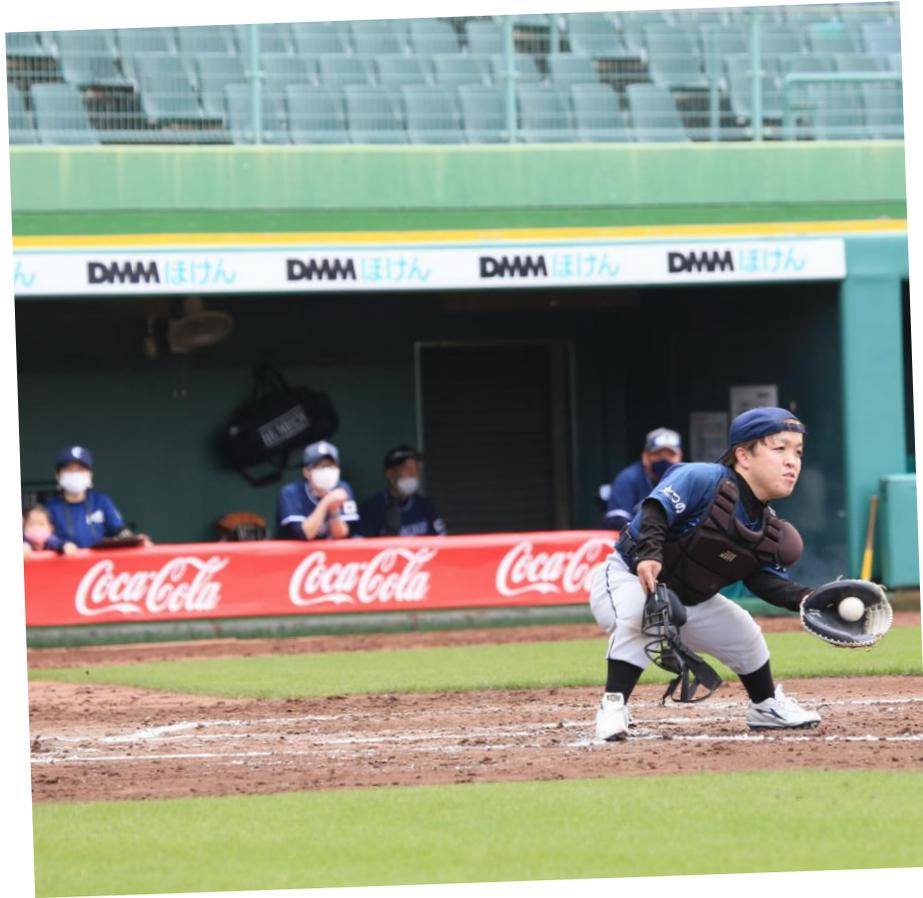
メイン球場では京都ビアーフレンズ、龍野アルカディア、神戸コスモスが熱戦を繰り広げ、

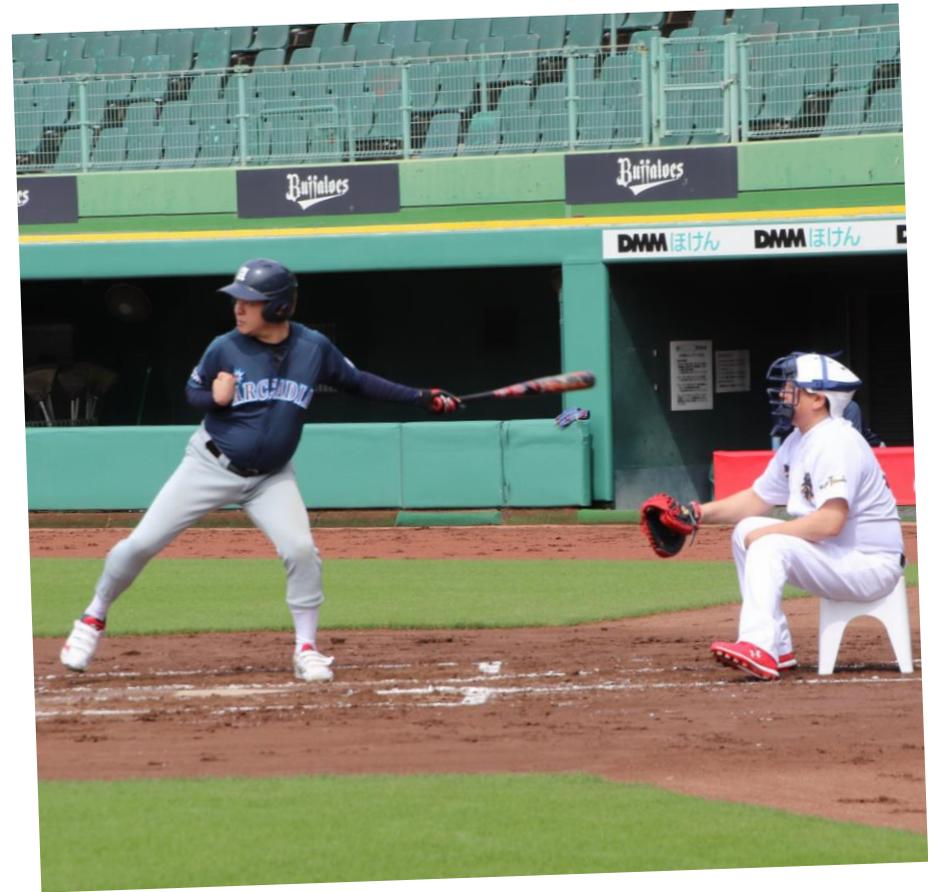
神戸コスモスが決勝に進出。

G7球場では、阪和ファイターズ、大阪ジャガーズを降して、

名古屋ビクトリーが決勝に進みました。









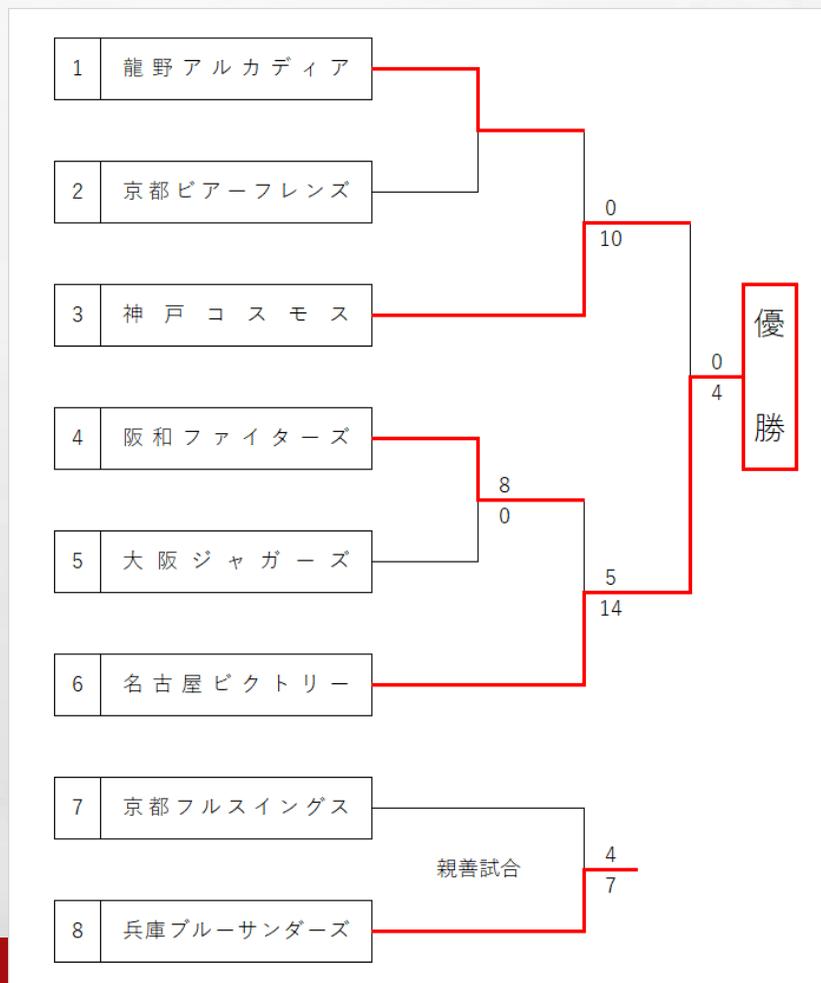


第29回全国身体障害者野球大会結果

コロナで昨年は中止でしたが、一昨年まで三連覇の神戸コスモスを相手に、一歩も引かず気合いの入った速球で挑み、コスモスを1ヒットに抑え、名古屋ビクトリーが初優勝を飾りました。

打線も上手くかみ合い、4対0で見事な勝利でした。

MLB JAPAN様贈呈の新MVPトロフィーは水越投手の手に渡されました。



優勝 名古屋ビクトリー

★初優勝★

準優勝 神戸コスモス

MVP選手

水越 大暉 (名古屋)

優秀選手賞

吉田 聡子 (神戸)

殊勲賞

藤川 泰行 (名古屋)

大田 宗嗣 (神戸)

敢闘賞

松田 慎平 (名古屋)

鹿島 洋介 (神戸)



応援ありがとうございました

